

田辺工業高校



電気電子科

たのともき

田野 智樹君 (18)

る。小さい子に分かりやすく教えるにはどうすればよいかを考えさせられた。「卒業後も帰省した時は体操を普及する手伝いができれば」と思っている。

春から大阪で機械を販売、修理するサービスエンジニアとして働く。「目指すは時間が守れる社会人。粘り強く頑張りたい」と目を輝かせる。

(安井夕記)

体操部に所属。「中学生から続けてきた体操競技が自分を変えてくれた」と言い切る。一つのことを続け、それに打ち込むことで忍耐力が鍛えられた。また、部活動を通してあいさつや言葉遣いなど社会的なマナーも身に付いた。

部活で培った人間性

'18 旅立ちを前に

高校生活を振り返って

- 6 -

自分の行動にも気を配った。最初は部をまとめられたか不安があったが、仲間をサポートもあって最後までやり遂げることができた」という。

高校3年間で一番思い出に残っているのは、1年生の時に地元開催のインターハイ開幕式で、皇太子さまの前で団体演舞を披露したこと。緊張したが、とても貴重な体験だった。生徒会では副会長として、総会の司会を担当した。「体操部で主将を務めてきたことで、物おしせず人前で話せるようになった」と実感する。

全国高校総体(インターハイ)に毎年出場している同部で、2年生の10月から主将を務めた。「後輩に指示するならまず自分から」と、ハイ開幕式で、皇太子さまの目の前で団体演舞を披露した。

同部は3カ月に1回程度、幼児や小学生に体操を指導する教室を開いてい